

# ウェルウォーク通信

## 稼働率向上に向けたカンファレンスと円滑な運用のための取り組み

日頃はウェルウォークをご愛顧いただきまして誠にありがとうございます。  
今回は、『すずかけヘルスケアホスピタル様』についてご案内致します。



### すずかけヘルスケアホスピタル（静岡県磐田市）

#### 【基本情報】

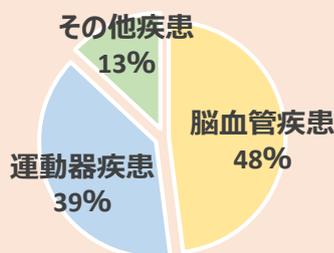
##### ○病床数

・回り八：106床 ・医療療養：54床

##### ○PT数

・54名（WW操作者：12名）

##### ○回復期病棟患者（2023年度）



##### ○WW患者の選定基準

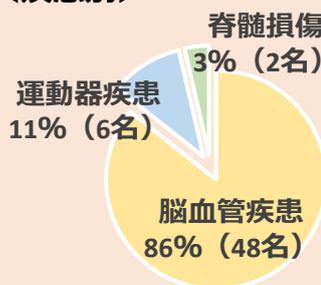
- ・機器の禁忌事項に該当しないこと
- ・WWカンファレンスで検討された対象者

##### ○ウェルウォークの運用状況

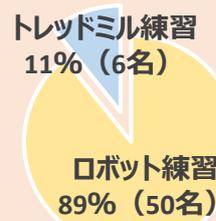
- ・導入機種：WW-2000（2023年3月～）
- ・体制：最大11枠/日（40分毎：設定、着脱など含む）
- ・現時点の使用状況：平均10枠/日
- ・週6回を目安に実施し、経過に応じて頻度を調整
- ・基本的に療法士2名体制（WW操作者+担当PT）

##### ○2023年度の実績紹介

#### <疾患別>



#### <練習モード別>



### 稼働率の向上に向けた取り組み

課題：適正な患者選定と適正使用 療法士教育

##### ○カンファレンスの実施

- ・開催日時：毎週木曜日 16:00～17:00
- ・参加者：リハビリテーション医師、WWリーダーPT、WW操作者、担当PT
- ・カンファレンス対象の選定基準：WW練習中の患者のうち、設定や練習の進め方に難渋している症例
- ・カンファレンスにおける相談内容：
  - ①新規入院患者の適応の有無を確認
  - ②調整に苦慮している患者の検討
  - ③WW実施患者の頻度や実施量の確認と検討
  - ④WW歩行と装具歩行の比較（WW使用終了の検討を含む）

##### ○臨床教育の推進

- ・機器の使用は操作者と担当者の2名で実施
- ・操作者選定→リーダーPTから操作者研修の実施
- ・操作者はWWに関する教育+臨床推論

##### ○学会報告、事例報告実績

#### <第61回日本リハビリテーション医学会学術集会>

- ・脳卒中後片麻痺患者のリハビリテーションにおけるWelWalk-2000の有用性について
- ・先端機器の効率的な利用のための導入と運用の工夫 ～ウェルウォークについて～
- ・慢性期脊髄梗塞患者に対して歩行補助ロボットを使用した介入により歩行能力が改善した一症例

#### <リハビリテーション・ケア合同研究大会2023>

- ・運動器疾患に対してウェルウォークWW-2000のトレッドミル機能を使用した視覚的フィードバックによる歩行改善の一例



## 導入から稼働までの取り組み

課題：予定管理による機器の効率的な運用 手間や煩雑さの解消（ヒューマンエラーの低減）

### ○ウェルウォークWW-2000 使用の予定管理（Excelは院内ネットワークで保管）

- ①8:40～17:00 AM5枠、PM6枠の計11枠（40分/人） 下記Excelを作成
- ②左右交互にロボット脚を使用するように調整 → WW歩行訓練中に次の使用者の準備が可能
- ③前日にWWの予定を全患者リハビリ予定のExcelへ反映、WW操作者と担当者、他の患者予定を調整

### ○採寸の効率化

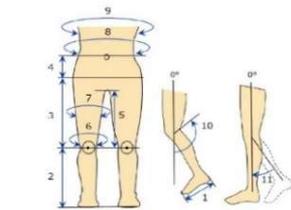
- ①採寸表の作成
  - ・視認性の向上
- ②特定項目の自動化
  - ・PCの採寸表へ入力
  - ⇒ 自動計算で転記
- ③保管方法
  - ・用紙を印刷してファイリング



採寸表の値をロボット脚調整表を参考に数値へ変換する工程が省略できた

### ①採寸値を入力

採寸表	
電子カルテID	Welwalk ID
氏名	治療師
身長	m
体重	kg
①足底～膝蓋骨中心	m
②膝蓋骨中心～大転子中心	m
③大転子中心～腸骨隆	m
④膝蓋骨中心～会陰部	m
⑤大腿周径（膝蓋骨中心+3cm）	m
⑥大腿周径（膝蓋骨中心+23cm）	m
⑦腰圍（臍の高さ）	m
⑧脚圍（腓状突起の高さ）	m
⑨膝関節屈曲角度	°
⑩膝関節伸展角度	°



### ②自動転記

### ③用紙の印刷して保管

※適合判定後の変更や実施中の変更は用紙へ直接記入

### 【今後の展望】

当院は2023年よりウェルウォークを導入し、約1年で約50名への訓練を実施し、効果に手応えを感じている。導入当初より機器の円滑な稼働に向けて、採寸の効率化や対象患者の選定、訓練予定管理、操作者の育成などの課題に向き合ってきた。今後も機器の使用が適切と考えられる患者が満遍なく利用できるよう、継続した取り組みと療法士の育成を進め、適正なリハビリテーション医療の提供につなげていきたい。



久野智彦 病院長

ご不明点、ご質問等ございましたら下記メールアドレスまでご連絡下さい。

WW 臨床・運用相談窓口<clinical-ww@mail.toyota.co.jp>